

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／株式
信託期間	無期限（2009年11月30日設定）
運用方針	投資信託証券への投資を通じて、主としてインドネシアの金融商品取引所に上場されている株式に投資を行い、信託財産の成長を目指して運用を行います。
主 要 投資対象	外国投資法人「イーストスプリング・インベストメンツ－インドネシア・エクイティ・ファンド クラスJ」の投資証券（米ドル建て）およびわが国の証券投資信託「イーストスプリング国内債券ファンド（国債）追加型Ⅰ（適格機関投資家向け）」の受益証券（振替受益権を含みます。）を主要投資対象とします。
組入制限	・投資信託証券への投資割合には制限を設けません。 ・外貨建資産への投資割合には制限を設けません。 ・株式への直接投資は行いません。
分配方針	毎決算時（毎年5月12日および11月12日。休業日の場合は翌営業日。）に、基準価額水準・市況動向等を勘案して分配金額を決定します。ただし、分配対象額が少額の場合は、収益分配を行わないことがあります。

運用報告書（全体版）

イーストスプリング・
インドネシア株式オープン

第33期（決算日 2026年5月12日）

受益者のみなさまへ

平素は格別のお引立てにあずかり厚くお礼申し上げます。
さて、「イーストスプリング・インドネシア株式オープン」は、上記の決算を行いましたので、ここに期中の運用状況をご報告申し上げます。
今後とも一層のご愛顧を賜われますよう、お願い申し上げます。

イーストスプリング・インベストメンツ株式会社

【お問い合わせ先】

電話番号：03-5224-3400

（受付時間は営業日の午前9時から午後5時まで）

ホームページアドレス：<https://www.eastspring.co.jp/>

〒100-6905

東京都千代田区丸の内2-6-1丸の内パークビルディング

○最近 5 期の運用実績

決 算 期	基 準 (分配落)	価 額			投 資 信 託 証 組 入 比 率	純 資 産 総 額
		税 分	込 配	み 期 金 騰 落 中 率		
	円			円	%	百万円
29期(2024年 5 月13日)	10, 402			0	△ 1. 7	9, 652
30期(2024年11月12日)	10, 097			0	△ 2. 9	8, 775
31期(2025年 5 月12日)	8, 382			0	△17. 0	7, 299
32期(2025年11月12日)	9, 674			0	15. 4	7, 885
33期(2026年 5 月12日)	8, 375			0	△13. 4	6, 228

(注) 基準価額の騰落率は分配金込みです。

(注) 純資産総額の単位未満は切捨てです。

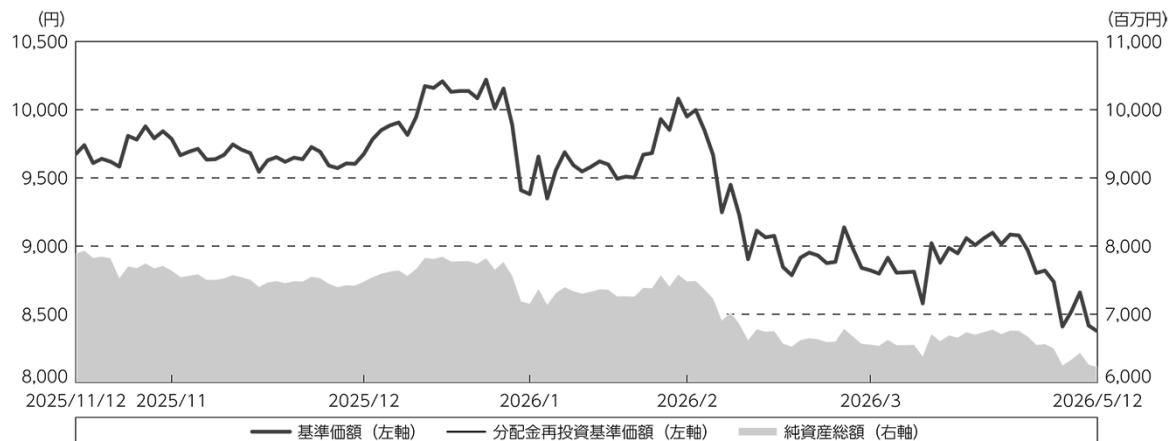
(注) 当ファンドは公表されている適切な指数が存在しないためベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

○当期中の基準価額等の推移

年 月 日	基 準	価 額		投 資 信 託 証 組 入 比 率
		騰 落	率	
(期 首)	円		%	%
2025年11月12日	9, 674		—	96. 6
11月末	9, 786		1. 2	96. 8
12月末	9, 675		0. 0	97. 1
2026年 1 月末	9, 381		△ 3. 0	97. 2
2 月末	9, 950		2. 9	96. 7
3 月末	8, 822		△ 8. 8	97. 0
4 月末	8, 738		△ 9. 7	96. 3
(期 末)				
2026年 5 月12日	8, 375		△13. 4	96. 2

(注) 騰落率は期首比です。

基準価額等の推移について



期 首： 9,674円

期 末： 8,375円 (既払分配金(税込み)：0円)

騰落率：△ 13.4% (分配金再投資ベース)

- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注) 分配金再投資基準価額は、期首(2025年11月12日)の値が基準価額と同一となるように指数化しております。
- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。
- (注) 当ファンドにおいては、運用の基本方針に適合した、公表されている指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

基準価額の主な変動要因

当期の基準価額は下落しました。

(下落要因)

- ・保有株式が下落したこと。
- ・通貨インドネシアルピアが対円で下落したこと。

投資環境について

インドネシア株式市場

期初から2025年末にかけては横ばいで推移していましたが、年明け以降、エネルギー関連株の上昇やニッケル価格の上昇などを背景に素材株が上昇し、インドネシア株式市場は史上最高値を更新しました。しかし、2026年1月末に大手指数算出会社であるMSCIが、インドネシア証券取引所が提供する浮動株のデータの透明性に懸念を示し、改善されない場合には新興国市場からフロンティア市場へ格下げされる可能性があるとして発表したことを受けて、市場は急落しました。その後、2月末に米国とイスラエルによるイラン攻撃を契機として原油を始めとするエネルギー価格が高騰し、世界的にリスクオフの動きが強まり、インドネシア株式市場は下落トレンドをたどりました。4月半ばには米・イスラエルとイランの間で停戦が報じられ、インドネシア株式市場は反発する局面も見られましたが、再び原油価格が100ドルを超えて推移する中、期末にかけて株式市場は軟調な展開となりました。

為替市場

期初から2025年末にかけては、概ねレンジ内での推移にとどまりましたが、年明け以降は、MSCIによるインドネシア株式市場の浮動株比率への懸念などを背景に外国人投資家による売りが加速したことに加え、2026年2月末に始まった米・イスラエルによるイラン攻撃を契機とするエネルギー価格の高騰を受けて、期末にかけてインドネシアルピアは下落基調をたどりました。円は、期初から2026年1月半ばにかけては日本の財政運営への懸念などを背景に対米ドルで150円台後半まで下落しましたが、その後は米国によるレートチェックなどを受けて値動きの荒い展開となりました。その後イラン情勢の緊迫化や日銀による利上げ先送りなどを背景に円安が進行しましたが、4月末に日本政府による円買い介入とみられる動きにより円は反発しました。こうした中、期を通じてインドネシアルピアは円に対して下落しました。

国内債券市場

日本の財政運営への懸念が高まったことや、日銀による追加利上げ観測などを背景に、10年国債利回りは上昇トレンドをたどり、2026年1月後半には2.3%を超える水準となりました。その後、発表された経済指標が景気鈍化を示したことから、一時利回りは低下しましたが、2月末の米・イスラエルによるイラン攻撃を受けてエネルギー価格が高騰し、円安の進行やインフレ懸念の高まりなどを背景に、利回りは再び上昇し期末には2.5%台で取引を終えました。

ポートフォリオについて

当ファンド

主要な投資対象のひとつであるイーストスプリング・インベストメンツ「インドネシア・エクイティ・ファンド クラスJ」（以下「インドネシア・エクイティ」ということがあります。）の組入比率を高位に保つよう運用しました。

インドネシア・エクイティ

主としてインドネシアの金融商品取引所に上場されている株式を実質的な主要な投資対象として、企業の本質的な価値を重視したバリュー投資を基本とし、ボトムアップ・アプローチに基づく銘柄選択により、中長期的な超過収益の獲得を目指した運用を行いました。高水準の株主還元策や大規模な自社株買いなどを発表し株価が上昇したエネルギー関連会社のAlamtri Resources Indonesia Tbk PTなどの保有がプラスに寄与した一方、2026年1-3月期決算でインフレ上昇などによりリテール部門が不振であったことなどが嫌気され株

価が下落した大手銀行のBank Central Asia Tbk PTなどの保有がマイナスに寄与しました。

イーストスプリング国内債券ファンド（国債）追加型 I（適格機関投資家向け）

主としてデュレーションをコントロールすることによって、ベンチマークであるICE BofA 国債インデックス（1－10年債）を中長期的に上回ることを目指して運用を行いました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドにおいては、運用の基本方針に適合した、公表されている指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

分配金について

分配金額は、基準価額水準・市況動向等を勘案して、以下の通りとさせていただきます。なお、留保益の運用につきましては、特に制限を設けず、元本部分と同一の運用を行います。

○分配原資の内訳

（単位：円、1万口当たり、税込み）

項 目	第33期
	2025年11月13日～ 2026年5月12日
当期分配金	—
（対基準価額比率）	— %
当期の収益	—
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	1,836

（注）対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

（注）当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

（注）一印は該当がないことを示しています。

○今後の運用方針について

当ファンド

主要な投資対象のひとつであるインドネシア・エクイティの組入比率を高位に保つことを基本とします。

インドネシア・エクイティ

中東情勢は流動的であり先行き不透明ですが、エネルギー価格の高騰が長引くと、政府による燃料や電力料金への補助金負担の増加に加え、インドネシア経済においては景気減速やインフレ上昇のリスクが高まることが懸念されます。また、指数構成比率算出に伴う浮動株調整に対するMSCIのレビューが発表され、6銘柄が主要指数から除外されましたが、インドネシア市場の格付け見直しに関する動向については、引き続き注視が必要です。

プラボウォ政権の掲げる優先事項は、1) 福祉国家の確立（無料給食プログラムや社会的な平等）、2) 食料・エネルギーなどの安全保障の強化、3) 工業化、下流工程での付加価値の向上などです。これらの優先事項から恩恵を受ける銘柄に注目し、持続的な成長、自己資本利益率（ROE）、強固なバランスシート、安定したキャッシュフローの創出、そして配当などの株主還元などへのコミットメントをもつ企業に投資を行っています。

上述のように、市場を取り巻く懸念材料が多く、不透明な投資環境が当面続く見込みですが、良好なファンダメンタルズと魅力的なバリュエーション（特にキャッシュフロー）を兼ね備えた優良大型株を中心にポートフォリオを構築してまいります。

イーストスプリング国内債券ファンド（国債）追加型 I（適格機関投資家向け）

今後もファンダメンタルズ分析、金利動向予測、イールドカーブ分析等を行いベンチマークであるICE BofA 国債インデックス（1－10年債）を中長期的に上回ることを目指した運用を行っていく所存です。

○ 1 万口当たりの費用明細

(2025年11月13日～2026年5月12日)

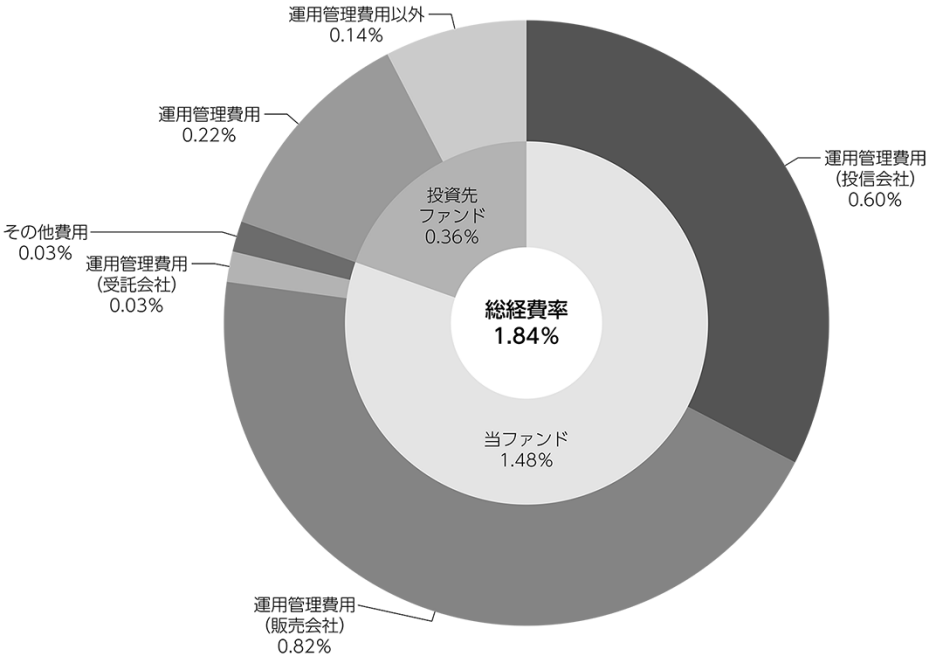
項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	円 68	% 0.725	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率
(投 信 会 社)	(28)	(0.300)	委託した資金の運用の対価
(販 売 会 社)	(38)	(0.409)	交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の 情報提供等の対価
(受 託 会 社)	(2)	(0.016)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) そ の 他 費 用	2	0.017	(b) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
(監 査 費 用)	(1)	(0.007)	監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(印 刷)	(1)	(0.009)	目論見書および運用報告書等の法定開示書類の作成費用等
合 計	70	0.742	
期中の平均基準価額は、9,392円です。			

- (注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。
- (注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。
- (注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。
- (注) 各項目の費用は、当ファンドが組み入れている投資信託証券が支払った費用を含みません。

(参考情報)

○総経費率

期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（１口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.84%です。



(単位: %)

総経費率 (①+②+③)	1.84
①当ファンドの費用の比率	1.48
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.22
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.14

(注) ①の費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。
(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。
(注) 各比率は、年率換算した値です。
(注) 投資先ファンドとは、当ファンドが組み入れている投資信託証券です。
(注) ①の費用は、投資先ファンドが支払った費用を含みません。
(注) ①の費用と②③の費用は、計上された期間が異なる場合があります。
(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

○売買及び取引の状況

(2025年11月13日～2026年 5月12日)

投資信託証券

銘 柄			買 付		売 付	
			口 数	金 額	口 数	金 額
外国	米 ド ル 建	イーストスプリング・インベストメンツ - ルクセンブルグ籍 インドネシア・エクイティ・ファンド クラスJ	千口	千米ドル	千口	千米ドル
			39	600	321	5,200

(注) 金額は受渡し代金です。

(注) 単位未満は切捨てです。

○利害関係人との取引状況等

(2025年11月13日～2026年 5月12日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○組入資産の明細

(2026年 5月12日現在)

ファンド・オブ・ファンズが組入れた邦貨建ファンドの明細

銘 柄		期首(前期末)	当 期 末		
		口 数	口 数	評 価 額	比 率
イーストスプリング国内債券ファンド (国債) 追加型 I (適格機関投資家向け)		千口	千口	千円	%
		15,851	15,851	16,085	0.3
合 計		15,851	15,851	16,085	0.3

(注) 比率欄は、純資産総額に対する評価額の比率です。

(注) 口数・評価額の単位未満は切捨てです。

ファンド・オブ・ファンズが組入れた外貨建ファンドの明細

銘 柄		期首(前期末)	当 期 末			
			口 数	評 価 額		比 率
				外貨建金額	邦貨換算金額	
イーストスプリング・インベストメンツ - インドネシア・エクイティ・ファンド クラスJ		千口	千口	千米ドル	千円	%
		2,974	2,693	37,946	5,973,472	95.9
合 計		2,974	2,693	37,946	5,973,472	95.9

(注) 邦貨換算金額は期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注) 比率欄は、純資産総額に対する評価額の比率です。

(注) 口数・評価額の単位未満は切捨てです。

○投資信託財産の構成

(2026年5月12日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
投資信託受益証券	16,085	0.3
投資証券	5,973,472	94.9
コール・ローン等、その他	301,829	4.8
投資信託財産総額	6,291,386	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨てです。
(注) 外貨建純資産 (5,973,472千円) の投資信託財産総額 (6,291,386千円) に対する比率は94.9%です。
(注) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、2026年5月12日における邦貨換算レートは、1米ドル=157.42円です。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2026年5月12日現在)

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	6,291,386,651
コール・ローン等	301,823,843
投資信託受益証券(評価額)	16,085,658
投資証券(評価額)	5,973,472,189
未収利息	4,961
(B) 負債	63,313,586
未払解約金	10,003,871
未払信託報酬	52,127,242
その他未払費用	1,182,473
(C) 純資産総額(A－B)	6,228,073,065
元本	7,436,316,290
次期繰越損益金	△1,208,243,225
(D) 受益権総口数	7,436,316,290口
1万口当たり基準価額(C／D)	8,375円

(注) 元本の状況
期首元本額 8,151,308,897円
期中追加設定元本額 453,103,025円
期中一部解約元本額 1,168,095,632円
(注) 1口当たり純資産額は0.8375円です。
(注) 上記表中の次期繰越損益金がマイナス表示の場合は、当該金額が投資信託財産の計算に関する規則第55条の6第10号に規定する額(元本の欠損)となります。

○損益の状況 (2025年11月13日～2026年5月12日)

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	729,515
受取利息	729,515
(B) 有価証券売買損益	△ 905,522,277
売買益	163,346,488
売買損	△1,068,868,765
(C) 信託報酬等	△ 53,309,715
(D) 当期損益金(A＋B＋C)	△ 958,102,477
(E) 前期繰越損益金	△ 162,627,670
(F) 追加信託差損益金	△ 87,513,078
(配当等相当額)	(1,048,447,761)
(売買損益相当額)	(△1,135,960,839)
(G) 計(D＋E＋F)	△1,208,243,225
(H) 収益分配金	0
次期繰越損益金(G＋H)	△1,208,243,225
追加信託差損益金	△ 87,513,078
(配当等相当額)	(1,048,447,761)
(売買損益相当額)	(△1,135,960,839)
分配準備積立金	317,446,022
繰越損益金	△1,438,176,169

(注) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。
(注) 損益の状況の中で(C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。
(注) 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。
(注) 分配金の計算過程
計算期間末における費用控除後の配当等収益(0円)、費用控除後の有価証券売買等損益(0円)、信託約款に規定する収益調整金(1,048,447,761円)および分配準備積立金(317,446,022円)より分配対象収益は1,365,893,783円(10,000口当たり1,836円)ですが、当期に分配した金額はありません。

○分配金のお知らせ

当期の分配金は、基準価額水準および市況動向等を勘案し、見送らせていただきました。

○お知らせ

2026年4月1日付で一般社団法人日本投資顧問業協会と一般社団法人投資信託協会が統合し、「一般社団法人資産運用業協会」となりましたので、投資信託約款に所要の変更を行いました。

＜参考情報＞

■投資対象とする投資信託証券の仕組み

フ ァ ン ド 名	イーストスプリング・インベストメンツ - インドネシア・エクイティ・ファンド クラス J	
形 態	ルクセンブルグ籍外国投資法人／オープン・エンド型	
表 示 通 貨	米ドル	
運 用 の 基 本 方 針	主として、インドネシアの企業の株式または株式関連証券に投資を行い、長期的な成長を目指した運用を行います。	
主 な 投 資 対 象	以下の企業の株式または株式関連証券を主要投資対象とします。 ・インドネシアで設立または上場している企業 ・インドネシアにおいて主に事業展開を行っている企業 なお、ADR、GDR等の預託証券、転換社債、優先株、ワラント債にも投資することができます。	
ベンチマーク	IDX80 Index (IDX80指数) ※1	
ファンドの関係法人	運 用 会 社	イーストスプリング・インベストメンツ (シンガポール) リミテッド
	管 理 会 社	イーストスプリング・インベストメンツ (ルクセンブルグ) S. A.
申 込 手 数 料	ありません。	
運 用 報 酬	年率0.225%	
管 理 費 用 等	年率0.15%程度	
その他の費用・手数料	組入有価証券の売買時に発生する売買委託手数料等がかかります。	
設 立 日	2007年7月2日	
決 算 日	毎年12月31日	

フ ァ ン ド 名	イーストスプリング国内債券ファンド (国債) 追加型 I (適格機関投資家向け)	
形 態	国内籍証券投資信託／適格機関投資家私募	
表 示 通 貨	日本円	
運 用 の 基 本 方 針	わが国の国債を中心に、国債、政府保証債、地方債等の公共債を主要投資対象とし、安定した収益の確保と信託財産の中長期的な成長を目指した運用を行います。	
主 な 投 資 対 象	日本の国債、政府保証債、地方債	
ベンチマーク	ICE BofA 国債インデックス (1-10年債) ※2	
ファンドの関係法人	委 託 会 社	イーストスプリング・インベストメンツ株式会社
	投資顧問会社	イーストスプリング・インベストメンツ (シンガポール) リミテッド
	受 託 会 社	三菱UFJ信託銀行株式会社
主 な 投 資 制 限	・株式 (新株引受権証券および新株予約権証券を含みます。) への投資割合は、取得時において信託財産の純資産総額の5%以内とします。 ・投資信託証券への投資割合は、信託財産の純資産総額の5%以内とします。 ・外貨建資産への投資割合には、制限を設けません。	
申 込 手 数 料	ありません。	
信 託 報 酬	年率0.22% (税抜0.2%)	
その他の費用・手数料	監査費用、有価証券売買時の売買委託手数料等がかかります。	
設 定 日	2002年8月26日	
決 算 日	毎年2月25日 (休業日の場合は翌営業日)	

※1 IDX80指数は、インドネシア証券取引所 (IDX) が算出している指数で、IDXの財産です。

※2 ICEの指数データは、ICE Data Indices, LLC、その関係会社 (以下「ICE Data」) 及び／またはその第三者サプライヤーの財産です。ICE Data及びその第三者サプライヤーは、その使用に関して一切の責任を負いません。

「イーストスプリング・インベストメンツ - インドネシア・エクイティ・ファンド クラス J」を含む「イーストスプリング・インベストメンツ - インドネシア・エクイティ・ファンド」の情報を委託会社が抜粋、翻訳したものを記載しております。

包括利益計算書

	2025年12月31日に終了した事業年度	米ドル
収益		
配当金		4, 104, 513
損益を通じて公正価値で測定する金融資産及び金融負債の純損益		(269, 193)
外国為替取引に係る純損益		(42, 085)
純収益合計		3, 793, 235
費用		
運用報酬		495, 927
運営・管理費用		125, 937
取引コスト		195, 165
その他費用		57
費用合計		817, 086
費用控除後利益（損失）		2, 976, 149
金融費用（償還可能投資証券保有者に帰属する純資産の増減を除く）		
銀行利息（純額）		9, 572
分配後・税引前利益（損失）		2, 985, 721
源泉税		(821, 167)
為替換算前の償還可能投資証券保有者に帰属する純資産の増減額（運用による）		2, 164, 554
為替換算後の償還可能投資証券保有者に帰属する純資産の増減額（運用による）		2, 164, 554
金融費用		(2, 164, 554)
当期純利益*		-

* IFRSに基づき、償還可能投資証券は負債として分類されており、その増減額は金融費用として包括利益計算書に認識されている。IFRSの定義上、当サブ・ファンドには資本持分保有者が存在しないことから、当期純利益は計上されていない。なお、包括利益計算書に表示されている分配後・税引前利益（損失）は、負債保有者および資本持分保有者の双方に帰属する利益を示すものである。

償還可能投資証券保有者に帰属する純資産の変動計算書

	2025年12月31日に終了した事業年度	米ドル
期首の償還可能投資証券保有者に帰属する純資産額		90, 253, 036
資本金の変動		
投資証券の発行		18, 903, 035
投資証券の解約		(19, 553, 489)
投資証券取引による純増減額		(650, 454)
償還可能投資証券保有者に帰属する純資産の増減額（運用による）		2, 164, 554
期末の償還可能投資証券保有者に帰属する純資産額		91, 767, 136

投資有価証券明細表（2025年12月31日現在）

（米ドル表示）

銘柄	数量	通貨	評価金額	対純資産 比率(%)
投資信託				
Ireland				
BlackRock ICS US Treasury Fund	10	USD	10	0.00
投資信託合計			10	0.00
公認の証券取引所に上場されているまたは他の規制ある市場で取引されている譲渡可能な有価証券				
株式				
Indonesia				
Alamtri Resources Indonesia Tbk PT	9,488,500	IDR	1,028,446	1.12
Amman Mineral Internasional PT	10,149,500	IDR	3,906,492	4.26
Aneka Tambang Tbk	8,334,900	IDR	1,568,257	1.71
Astra International Tbk PT	13,748,600	IDR	5,505,647	6.00
Bank Central Asia Tbk PT	14,859,100	IDR	7,181,287	7.83
Bank Mandiri Persero Tbk PT	26,790,120	IDR	8,173,178	8.91
Bank Negara Indonesia Persero Tbk PT	17,165,172	IDR	4,484,715	4.89
Bank Rakyat Indonesia Persero Tbk PT	32,378,817	IDR	7,088,656	7.72
Bank Syariah Indonesia Tbk PT	16,310,400	IDR	2,177,542	2.37
Barito Pacific Tbk PT	19,271,612	IDR	3,781,780	4.12
BFI Finance Indonesia Tbk PT	6,817,000	IDR	285,616	0.31
Bumi Resources Minerals Tbk PT	17,383,300	IDR	1,144,355	1.25
Charoen Pokphand Indonesia Tbk PT	5,623,500	IDR	1,516,051	1.65
Cisarua Mountain Dairy PT TBK	5,853,600	IDR	1,976,941	2.15
Dayamitra Telekomunikasi PT	37,755,242	IDR	1,580,531	1.72
GoTo Gojek Tokopedia Tbk PT	906,624,500	IDR	3,472,622	3.78
Indah Kiat Pulp & Paper Tbk PT	5,690,500	IDR	2,895,041	3.16
Indofood CBP Sukses Makmur Tbk PT	5,135,600	IDR	2,517,297	2.74
Indofood Sukses Makmur Tbk PT	6,441,000	IDR	2,606,945	2.84
Indosat Tbk PT	20,555,300	IDR	2,854,435	3.11
Kalbe Farma Tbk PT	33,321,100	IDR	2,401,819	2.62
Map Aktif Adiperkasa PT	8,680,000	IDR	348,320	0.38
Mayora Indah Tbk PT	19,525,300	IDR	2,489,267	2.71
Merdeka Copper Gold Tbk PT	25,984,450	IDR	3,551,352	3.87
Mitra Adiperkasa Tbk PT	8,353,400	IDR	582,504	0.64
Mitra Keluarga Karyasehat Tbk PT	13,350,700	IDR	1,900,144	2.07
Perusahaan Gas Negara Tbk PT	10,227,300	IDR	1,168,901	1.27
Sumber Alfaria Trijaya Tbk PT	33,339,900	IDR	3,939,136	4.29
Telkom Indonesia Persero Tbk PT	40,941,100	IDR	8,529,759	9.30
株式合計			90,657,036	98.79
投資総額			90,657,046	98.79
その他資産			1,110,090	1.21
純資産			91,767,136	100.00

「イーストスプリング国内債券ファンド（国債）追加型Ⅰ（適格機関投資家向け）」の直近の決算にかかる運用状況をご報告申し上げます。

○ 1 万口当たりの費用明細

(2025年 2 月26日～2026年 2 月25日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	円 23	% 0. 220	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率
(投 信 会 社)	(15)	(0. 143)	委託した資金の運用の対価
(販 売 会 社)	(2)	(0. 022)	交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の 情報提供等の対価
(受 託 会 社)	(6)	(0. 055)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) そ の 他 費 用	1	0. 013	(b) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
(監 査 費 用)	(1)	(0. 013)	監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
合 計	24	0. 233	
期中の平均基準価額は、10, 325円です。			

- (注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。
- (注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。
- (注) 各比率は1 万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第 3 位未満は四捨五入してあります。

○組入資産の明細

(2026年2月25日現在)

国内公社債

(A)国内(邦貨建)公社債 種類別開示

区 分	当 期		期 末		残存期間別組入比率		
	額 面 金 額	評 価 額	組 入 比 率	うちB B格以下 組 入 比 率			
					5年以上	2年以上	2年未満
国債証券	千円 746,500	千円 735,750	% 97.6	% —	% 21.6	% 50.6	% 25.4
合 計	746,500	735,750	97.6	—	21.6	50.6	25.4

(注) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合です。

(注) 額面金額・評価額の単位未満は切捨てです。

(注) —印は組入れなしです。

(B)国内(邦貨建)公社債 銘柄別開示

銘 柄	当 期		期 末	
	利 率	額 面 金 額	評 価 額	償 還 年 月 日
国債証券	%	千円	千円	
第351回利付国債 (10年)	0.1	60,000	58,455	2028/6/20
第354回利付国債 (10年)	0.1	59,000	56,806	2029/3/20
第359回利付国債 (10年)	0.1	175,000	164,675	2030/6/20
第378回利付国債 (10年)	1.4	55,000	52,088	2035/3/20
第13回利付国債 (30年)	2.0	42,000	42,328	2033/12/20
第14回利付国債 (30年)	2.4	66,000	68,330	2034/3/20
第87回利付国債 (20年)	2.2	55,000	55,048	2026/3/20
第91回利付国債 (20年)	2.3	135,000	136,094	2026/9/20
第117回利付国債 (20年)	2.1	99,500	101,920	2030/3/20
合 計		746,500	735,750	

(注) 額面金額・評価額の単位未満は切捨てです。